

ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 スーブラ・ジーティー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.570	△RG 0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：スーブラ・ジーティー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

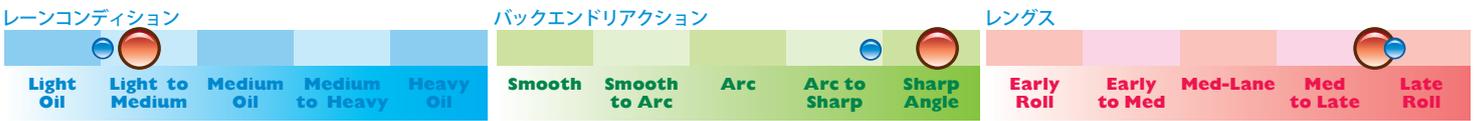
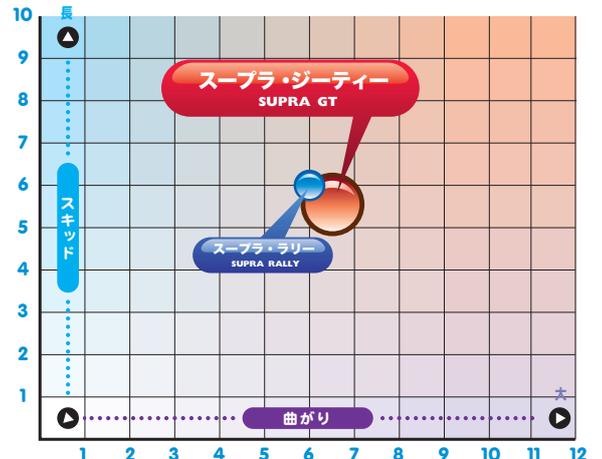
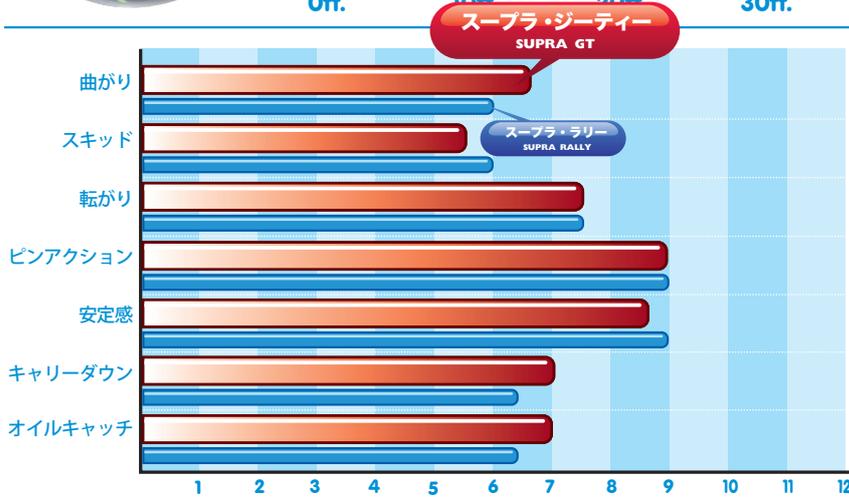
比較対照ボール：スーブラ・ラリー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

MOTIVのラインナップの中でもアグレッシブな性能を基本形としているのがSUPRAで、スキッド能力をあえて高めているため適正なコンディションはライトオイルです。しかし前回のSUPRA RALLYにも垣間見えたバックエンドの反応の良さは、ライトオイル用だとは思えないほど、また時に必要以上に幅を取らないとポケットに収まらなくなるほどのポテンシャルがあります。その角度の出方と走りの良さで、インサイドに入ってから角度不足を補うことができるので、SUPRAがトーナメントや大会の後半に選ばれるでしょう。

SUPRA GT開発にあたり、SUPRA RALLYよりも角度の取れる性能に上げるため、カバーストックをPropulsion XRT Pearl Reactiveに変更してきました。このカバーストックはオイル上では摩擦の抵抗をなるべく少なくすることと同時に、従来のPropulsionカバーストックよりドライエリアの摩擦を大きくさせる特徴があります。その開発コンセプトがバックエンドのシャープさにキッチリと反映されていて、SUPRA史上最大のシャープさがSUPRA GTの最大の売りでもあります。

心臓部に収められているQuadfire™ V2 Symmetricコアは汎用性の高いコアで、各シリーズに使用されています。しかし、ここまでバックエンドにシャープさを求めたスペックは初めてで、高いレベルでの走りや補うだけのドライエリアの反応が綿密に計算されており、大会の終盤戦でインサイドのラインアジャストにおけるポケットへの角度不足を補えるため、ポケットヒット前「もうひと曲がり」のイメージを持たれている方は、試す価値のあるボールだと思います。

特記事項

SUPRA史上最大のバックエンドを誇るSUPRA GT。オイル上の摩擦を最小限に抑えたPropulsion XRT Pearl ReactiveカバーとQuadfire™ V2 Symmetricコアの組み合わせは、終盤戦で貴方の武器になります。